

平成28年度事業報告

世界経済は、米国経済の足踏みや、中国経済の失速懸念、英国のEU離脱決定のショックなどから大幅に減速したもののその後は緩やかに持ち直しが進み、トランプ政権のもと経済政策への期待から米国経済を中心に良好なファンダメンタルズを示しています。

一方、日本経済も秋以降は緩やかに持ち直しが進みましたが、踊り場から脱するまでには至っていません。そうした中、雇用は引き続き増加し、人手不足感が続いており、今後も新卒者が減る傾向が続くことから中小企業、とりわけ製造業の人材確保が難しい状況が続くものと考えられます。

横浜市工業会連合会では、市内工業高校等と会員企業を結び付ける就職懇談会をはじめ、人材確保に向けた各種事業に取り組むほか、工場見学会の実施や、テクニカルショウヨコハマを活用して製造業への理解を深める取組、人材育成のための新入社員の合同研修会や、新たに若手社員等のフォローアップ研修会を開催しました。

また、広報誌などの媒体を通じて情報をお届けするだけでなく、販路拡大のために商談会や、テクニカルショウヨコハマの開催の他、新たに新旧委員交流・情報交換会及び会員情報交換会など会員同士が直接交流できる機会の創出にも取り組みました。

I ものづくり活性化事業

1 基盤整備事業（産業振興に関する課題の掌握、提言、対応策の実施）

(1) 市工連委員会の活動

地域工業会代表が意見交換をおこない、課題解決に反映されるよう各委員会を開催しました。

5委員会の開催延べ回数：7回

(委員会別開催実績等はVの総会、理事会、委員会等のとおり)

(2) 横浜市と当連合会との施策検討会の運営

横浜市の中小企業振興策の立案・実施に向け、行政とともに具体的、かつ実効性の高い施策検討協議をおこないました。

(3) 産業振興に関する提言、調査、研究

行政機関等の産業振興施策に反映されるよう、上記(2)の施策検討会を活用し、ものづくりをはじめとした振興施策、企業経営及び立地環境の改善等に関する意見・要望を集約し、林横浜市長に「平成29年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書」として提出しました。

ア 提出日 平成28年11月1日(火)

イ 場所 市庁舎2F 応接室

ウ 出席者 林横浜市長、林経済局長、榎本市工連会長、各地域工業会会長ほか

エ 要望書概要

(ア) 重点要望事項 2件

- ・内陸部工業集積エリア等実態調査を踏まえた製造業支援
- ・中小ものづくり企業の社員の育成などを通じた企業の魅力向上

(イ) 局別要望事項 30件

2 ものづくりネットワーク形成促進事業

新事業展開や新製品開発、受発注機会の拡大を支援するため、情報交換会・商談会を開催しました。また、常時、会員企業からの受発注等に関する相談に応えるとともに、情報提供をおこなうなど、市内製造業のネットワークづくりを促進しました。

(1) 受発注相談（電話・FAX・Eメール等による受発注相談）

相談件数：42件

(2) 商談会等の開催

ア 受・発注商談会（川崎開催）

(ア) 日時 平成28年9月27日（火）9:30~17:00

(イ) 会場 川崎市産業振興会館

(ウ) 主催 (公財) 神奈川産業振興センター、(公財) 川崎市産業振興財団、川崎市、川崎商工会議所、川崎信用金庫、(一社) 横浜市工業会連合会、横浜市

(エ) 参加社数 312社（前年度：415社）

発注：55社うち横浜市内企業18社（前年度：52社・13社）

受注：257社うち横浜市内企業62社（前年度：363社・63社）

(オ) 商談件数 965件（前年度：960件）

(カ) 内容 発注企業及び受注企業の「事前マッチング方式」により運営しました。

イ 受・発注商談会（横浜開催）

(ア) 日時 平成29年2月1日（水）10:00~17:00

(イ) 会場 パシフィコ横浜2F アネックスホール

(ウ) 主催 神奈川県／(公財) 神奈川産業振興センター／横浜市／(一社) 横浜市工業会連合会／川崎市／(公財) 川崎市産業振興財団／横浜信用金庫

(エ) 参加社数 400社（前年度：360社「九都県市合同商談会 in パシフィコ横浜」として開催）

発注：76社うち横浜市内企業27社（前年度：60社・13社）

受注：324社うち横浜市内企業98社（前年度：363社・63社）

(オ) 商談件数 1,231件（前年度：1,462件）

(カ) 内容 発注企業の発注案件を事前にホームページで提示して受注企業を募集し、当日のミスマッチによる混乱を避けました。

(3) 横浜ネットワークプラス（受発注情報システム）の運営

横浜ネットワークプラス（受注・発注マッチングサイト）で、受けた案件を横浜ネットワークプラスに登録・公開するとともに、受注情報や企業検索ができるシステムを運営しています。本サイトをPRするとともに、会員数の拡大やサイト掲載内容の更新等を行いました。

3 テクニカルショウヨコハマ 2017

「未来をひらく新技術」を主要テーマに、県内に立地する事業所等の技術・製品を展示して、技術力の向上とビジネスチャンスの創出を促進するため、(公財) 神奈川産業振興センター、神奈川県、横浜市との共催により開催しました。

(1) 開催概要

- ア 開催期間 平成 29 年 2 月 1 日 (水) ～ 2 月 3 日 (金) 3 日間
- イ 会場 パシフィコ横浜展示ホール C・D
- ウ 出展数 615 社・団体 (前年度: 595 社・団体)
- エ 小間数 466 小間 (前年度: 467 小間)
- オ 入場者数 31,002 人 (前年度: 28,289 人)

(2) 横浜ものづくりゾーンの開設

横浜市や各区が実施する中小製造業振興のための様々な施策の紹介や、その施策を活用した企業の技術を周知することを目的に、テクニカルショウヨコハマ 2017 に「横浜ものづくりゾーン」を開設し、地域工業会や、横浜青年経営者会が団体として出展しました。

横浜ものづくりゾーン 出展企業 79 社 (前年度: 52 社)

(個別応募企業: 14 社、金沢区工業団体連絡会: 11 社、横浜青年経営者会: 8 社、メイドインつづき: 23 社、港北オープンファクトリー: 4 社、他)

4 ものづくり人材育成支援事業

(1) 新入社員合同研修

「帆船日本丸」における甲板みがき、漕艇、登橋、結索などの訓練を通し、新入社員の、忍耐力や協調性、連帯感などを養い、企業の将来を託せる人材の育成を図りました。

- ア 開催日 平成 28 年 4 月 7 日 (木) ～ 8 日 (金) (1泊2日)
- イ 会場 帆船日本丸、同訓練センター等
- ウ 参加者 15 社 57 名 (男性 44 名 女性 13 名)
(前年度参加者: 12 社 55 名(男性 40 名 女性 15 名))

エ 内容

①船上訓練、カッター訓練

指導者: 日本丸船長、航海士、乗組員

②講義 (社会人としての意識を持つ、ビジネスマナー)

グループ討議「学生時代と社会人の違い」「理想の社会人となるために」

講師: スリーマインド教育センター 澤田 顕氏

③講義「海に学ぶ (シーマンシップ)」

講師: 日本丸船長 船長 飯田 敏夫氏

(2) 新入社員等若手社員のフォローアップ研修会の開催

今年度初めての試みとして、新入社員から入社 5 年目までの若手社員を対象に、入社後を振り返り身につけた能力を検証し、不足しているところと、今後の課題を見つけこれからの仕事へのヒントを学ぶ新入社員等若手社員のフォローアップ研修

会を開催しました。

- ア 日 時 平成28年11月9日(水) 9:30~17:30
- イ 会 場 横浜産貿ホール 小展示室
- ウ 参加者 12社21名(男性18名 女性3名)
- エ 講 師 スリーマインド教育センター 阿比留 眞二氏
- エ 内 容 ①社会人になった私が自覚すること ~今までの振り返り~
②会社で働くということ
③社会では能力は発揮してこそ、評価される
④報告・連絡・相談こそ、会社コミュニケーションの基本
⑤仕事の仕方とチームワーク
⑥自己啓発・自己宣言

(3) 就職に関する懇談会等の開催

神奈川県内の高校卒業生の地元中小企業への就業を促進するため、県内高校等関係者と企業との就職に関する懇談会をハローワークと共催して開催しました。

- ア 日 時 平成28年6月16日(木) 14:00~18:00
- イ 会 場 神奈川中小企業センタービル 14F 多目的ホール
- ウ 参加者 神奈川県立磯子工業高校 等 19校25名(前年度:22校 25名)
会員企業等 46社60名(前年度:47社 52名)
- エ アンケート結果 事後接触有り128件、うち採用内定予定有り31件、
(前年度:事後接触有り107件、うち採用予定有り36件)

(4) 工場見学会の開催

学校関係者の中小製造業に対する理解を深め、人材の確保と後継者の育成を図るため、横浜市と連携し就職指導教員と学生を対象に、市内企業の工場見学会を実施しました。

- ア 実施事業所: ニッパ株式会社
- イ 所 在 地: 横浜市港北区新羽町1508
- ウ 参 加 校: 横浜市立横浜総合高等学校 定時制
- エ 訪 問 日: 平成28年11月22日(火)
- オ 時 間: 10:00~11:30
- カ 参 加 者: 1年生8名、引率者1名、関係者3名、合計13名
(市工連2名、横浜市1名、港北区1名)

(5) 出前講座の開催

神奈川県立東部総合職業技術校の訓練生に対し、ものづくり産業・中小製造業の果たしている役割などを伝えるため訓練校へ直接出向き、講座を開催しました。

- ア 実施校: 神奈川県立東部総合職業技術校 チャレンジプロダクトコース
- イ 開催日: 平成28年12月7日(水) 13:00~14:00
- ウ 会 場: 神奈川県立東部総合職業技術校
- エ 対象者: 12名
- オ 講師及びテーマ
 - ・アートワーク株式会社 代表取締役 白須 大吉氏
 - テーマ: 「好きなことを仕事にしたら失敗する」

- ・株式会社 関東精密 代表取締役 杉田 勇氏
 テーマ：「楽しく」

(6) ものづくり企業紹介フェアの開催

神奈川県内の高校生に対し、テクニカルショウヨコハマの開催に合わせ、中小企業や、製造業、自社の様子について市内製造業経営者や、技術者に紹介していただいた後、テクニカルショウヨコハマ（工業技術見本市）を見学し、中小企業や製造業に対する理解を深めてもらい、進路を決定していく上での参考になるフェアを開催しました。

ア 開催日：平成 29 年 2 月 2 日（木）

イ 参加校：①神奈川県立磯子工業高校 参加者：228 名

 ②神奈川県立商工高校 参加者：218 名

ウ 講演者及びテーマ

- ・講演者：株式会社関東精密 代表取締役 杉田 勇氏
- ・テーマ：「ものづくりの楽しみ方」

- ・講演者：株式会社ニットー 代表取締役 藤澤 秀行氏
- ・テーマ：「人生が楽しくなる働き方『ものづくりの可能性』」

- ・講演者：株式会社第一鉸製作所 専務取締役 渡辺 堅太郎氏
- ・テーマ：「ものづくりとへら鉸加工の楽しさ」

- ・講演者：株式会社中村製作所 常務取締役 中村 謙太郎氏
- ・テーマ：「僕たちのみらい」

(7) 横浜市就職サポートセンター事業

横浜市経済局雇用労働課が実施する「横浜市就職サポートセンター事業」に、当連合会も協力し、ものづくり企業への若年層の雇用に結びつけました。

ア 求人企業数 105 社 市工連会員企業 38 社

イ 採用決定 85 名 市工連会員企業 6 社 10 名（前年度採用実績：7 名）

(8) 関東学院大学学内企業説明会

関東学院大学の平成 30 年 3 月卒業生に向け、「地元で就職しよう！」をテーマに学内企業説明会を開催するにあたり、(公財) 神奈川産業振興センター、(公財) 横浜企業経営支援財団とともに企業を募集し参加しました。

ア 日 時：平成 29 年 3 月 16 日(木) 13:00~16:00

イ 会 場：関東学院大学 金沢八景キャンパス

ウ 参加者：関東学院大学 3 年生 約 120 名

エ 参加企業：神奈川県内企業 57 社 うち市工連募集企業 20 社

5 市工連セミナーの開催

会員経営者同士が集まり語り合える機会をつくり、相互交流を通じて切磋琢磨してい

る事業の交流・情報交換を開催しました。

(1) 新旧委員交流・情報交換会（市工連役員及び5委員会委員並びに施策検討会）

ア 開催日 平成28年7月8日(金) 17:30~19:30

イ 会場 英一番館

ウ 報告 「中小企業つながるものづくり推進事業」について

横浜市経済局ものづくり支援課 担当係長 山本 登氏

エ 参加者 67名

(2) 安全工事体感訓練の受講

工場にひそむ危険を体感し、災害の怖さを実感して安全意識を高めるとともに、正しく安全な行動を身につける安全工事体感訓練をJFEプラントエンジニアリング株式会社において行いました。

ア 日時 平成28年10月6日(木) 9:00~12:10

イ 会場 JFEプラントエンジニアリング安全工事体感訓練センター

ウ 参加者 11名(市工連2名含む)

エ 内容 条件設定不備による挟まれ体験

残圧噴出体験

墜落体験

マグネットボール旋盤巻込まれ体験

重量物目測体感

(3) 会員情報交換会

ア 開催日 平成28年11月30日(水) 18:00~19:30

イ 会場 ワークピア横浜

ウ 報告 「横浜青年経営者会 大都市青年経営者交流研究大会」について

横浜市年経営者会 副会長 山崎 一氏

横浜青年経営者会 理事 南川 拓也氏

エ 参加者 93名

6 情報発信事業

(1) インターネットを活用した情報提供

ア ホームページの運営

緊急、重要な情報提供に努めました。

イ メールマガジン「市工連ニュース」の配信

平成28年4月1日 第349号から

平成29年3月15日 第374号まで 26回配信

配信先 工業会会員等約970件

(2) 機関誌等の発行

ア 機関紙「よこはま市工連」の発行

年間2回発行

平成28年7月(74号) 2,300部

平成29年1月(75号) 2,500部(テクニカルショウヨコハマ会場内 配布分の増刷)

イ 広報誌「市工連かわらばん」の発行
年間6回発行 各回2,600部配布
平成28年5月(158号)から29年3月(163号)まで奇数月発行

(3) 重要情報の一斉ファックス・メールマガジン送信

緊急重要案件については、一斉FAXやメールマガジンのツールを利用し情報の周知に努めました。

II 産業振興施設の管理運営

1 横浜産貿ホールの管理・運営事業

産貿ホールマリネリアの認知度向上を目指し、ホームページをスマートフォンへの対応ができるよう操作性の向上を図り、Webサイトをリニューアルし新規顧客開拓に努めました。

2 鳥浜・試作型貸スペース(T3)事業

前年度に引き続き3事業所5室の満室を維持し、安定運営ができました。

III 会員の交流を深める事業(相互扶助事業)

市工連を構成する10の地域工業会・事業会と横浜青年経営者会に対し活動助成を行い、支援に力を入れました。また、賀詞交歓会など会員の交流を図るとともに、「災害共済」、「労災保険」等工業会会員企業や従事者を対象とした各種福利厚生事業を行いました。さらに、製造物責任法による企業の賠償責任に対応するため、本会独自のPL保険の加入促進を図りました。

なお、平成7年4月に設立され、従業員の福利厚生に役立っていた「横浜市工業厚生年金基金」は、平成25年6月に成立した「公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律」の公布をうけ、平成29年2月27日に厚生労働大臣あて解散認可申請を提出しました。

1 地域工業会・事業会の活動支援

前年度と同様に10の地域工業会・事業会に対し、広報活動助成と活動支援助成(特例分)として、11万円の助成を行いました。

2 横浜青年経営者会の活動支援

前年度と同様に、横浜青年経営者会の活動支援や20周年記念式典、大都市青年経営者交流研究の活動に対し40万円の助成を行いました。

3 すぐれたアイデア提案者表彰

各企業において、技術開発、生産性の向上、経費節減等で「すぐれたアイデア」を提案し、企業の発展に貢献した従業員を市工連賀詞交歓会の席上で表彰しました。

ア 表彰日 平成29年1月11日(水)

イ 会場 ホテル横浜ガーデン

ウ 受賞者 4社 6名 (別表)

IV 法人運営

総会、理事会の開催など団体運営に努めました。

V 総会、理事会、委員会等

1 総会

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月22日 (水)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算報告について ・任期満了等に伴う理事・監事の選任について ・その他の報告 	ホテル横浜ガーデン
29年 3月30日 (木)	定時総会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画について ・平成29年度予算について ・総会・理事会規程の制定について ・市工連事務局長(専務理事)の選任について ・その他 	産業貿易センター 801 会議室

2 理事会、会長会議、各委員会等

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
5月11日 (水)	広報・産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま市工連第74号発刊計画について ・よこはま市工連第74号掲載内容について ・その他の報告 	横浜産貿ホール 小展示室
5月19日 (木)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度横浜市に対する予算要望の回答について ・平成29年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定スケジュールについて ・その他の報告 	横浜産貿ホール 小展示室
5月25日 (水)	事業・企画 雇用・環境 合同委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新入社員合同研修・フォローアップ研修について ・すぐれたアイデア表彰について ・平成28年度経営セミナー企画について ・ボウリング大会について ・就労支援プログラム事業について ・中小企業イメージアップ動画について ・その他 	横浜産貿ホール 小展示室

月 日	件 名	主な審議事項	会 場
6月9日 (木)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度定時総会・第1回理事会について ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算について ・理事の改選について ・会長・副会長の選任について ・その他報告 	横浜産貿ホール 小展示室
6月22日 (水)	第1回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度事業報告について ・平成27年度決算報告について ・任期満了に伴う理事・監事の選任について ・会長・副会長の選任について ・平成28年度委員会の委員について ・その他の報告 	ホテル横浜ガーデン
7月22日 (金)～ 9月7日 (水)	施策検討会	<p>横浜市課長職以下9人地域工業会推薦14人 I DEC4人 延べ3回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ①内陸部実態調査結果を踏まえた検討の方向性 ②取引機会の拡大 ③「人材確保、育成、その他」 	メディアビジネス センター 大会議室
10月4日 (火)	政策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度施策検討会報告 ・平成29年度横浜市予算に対する産業振興に関する要望書の策定について 	横浜産貿ホール 小展示室
11月10日 (木)	広報・産学委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・よこはま市工連第75号発刊計画について ・よこはま市工連第75号掲載内容について ・よこはま市工連第76号の企画について ・広報関係の実績について 	横浜産貿ホール 小展示室
29年 3月17日 (金)	総務委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画について ・平成29年度予算について ・総会・理事会規程の制定について ・市工連事務局長(専務理事)の選任について ・その他 	横浜産貿ホール 小展示室
3月30日 (木)	第2回理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度事業計画について ・平成29年度予算について ・総会・理事会規程の制定について ・市工連事務局長(専務理事)の選任について ・その他 	産業貿易センター 801会議室

3 新年賀詞交歓会

日 時 平成29年1月11日(水) 16:00～18:00
 会 場 ホテル横浜ガーデン
 参加者数 148名

4 地域工業会・事業会 事務局長会議

各地域に出向き次のとおり事務局長会議を開催し、市工連と地域工業会・事業会との情報交換・連携を図りました。

開催数 10回

開催日	担当工業会	会 場
28年4月20日	鶴見区工業会	横浜銀行鶴見支店内 3階会議室
5月18日	南事業会	大岡地区センター 2階小会議室
6月15日	みなと工業会	関内中央ビル 4階C会議室
7月20日	神奈川工業会	横浜信用金庫大口支店 2階会議室
9月21日	港南区工業会	産貿ホール2階 小展示室
10月19日	横浜西部工業会	旭区役所 外部特別会議室Ⅱ
11月16日	磯子事業会	㈱IHI横浜事業所ゲストハウス 2階会議室
12月21日	金沢区工業団体連絡会	金沢産業振興センター 2階特別会議室
29年2月15日	(一社)横浜北工業会	なかやまラブニール会館 3階
3月15日	戸塚泉栄工業会	産貿ホール2階 小展示室

第33回すぐれたアイデア表彰受表彰者

(順不同・敬称略)
(4社 6件)

No.	企業名	氏名	職名	アイデアの名称
1	(株)吉岡精工	さいとう 斎藤 ひろし 博	生産部マウント ラインリーダー	高硬度材ネジ成形加工における バリレス工程の開発
2	(株)吉岡精工	いわむら 岩村 ひろあき 宏亮	生産部テーブル ラインリーダー	12インチスピナーテーブル の工数半減工程の開発
3	竹澤工業(株)	なかじょう 中條 まさあき 正明	製造・工務グル ープ 係長	ダクト塗装順序変更による工数 削減
4	海洋電子工業(株)	のぐち 野口 ゆうじ 裕二	技術部設計1課 電気設計担当	基板種類の削減
5	海洋電子工業(株)	やまぐち 山口 たかし 剛史	整備部整備1課	新規ネットワークシステム器材 調整試験手順書の作成
6	かがつう(株)	よしだ 吉田 たくや 卓矢	製品技術部 横浜照明設計課	景観照明の機能を備えたLED スマート街路照明の開発